

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表 令和5年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	60%	40%		個室がもっとあるといい。 勉強と遊びの間仕切りがない事が難点。
	2	職員の配置数は適切であるか	60%	40%		人員配置基準に従い、支援を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			玄関も室内も全てフラットになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			定期的にミーティングを行い、上手くいっていることと上手くいかなかったことを共有し、改善策を考えている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			保護者アンケートの結果をまとめ、共有している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20%	60%	20%	第三者評価も検討してさらに良い支援に繋げていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			内部・外部研修を行っている。今後も積極的に行っていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			年に2回個別支援計画作成前に紙面で保護者からのご意見を記入してもらったり、相談支援員を交え担当者会議を行っている。子どもからは好きな活動や今後行いたい事などを聞き計画書にも記入している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			アセスメントツールを使用し、適応行動を把握してよりよい支援を提供できるように努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			毎月1回以上会議を行い、翌月のプログラムを作成し、活動担当を決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			季節感を盛り込み、外出も積極的に行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			平日の個別学習と集団活動の他に、季節の行事や休日の外出訓練を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			活動内では集団で行うが、工程や加配など子どもに合わせて行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%		その日の活動を確認し、担当職員を中心に内容や職員配置などを共有し確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	60%	40%		支援終了後や翌日に振り返りを行い、情報共有をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80%	20%		日々の記録はとっているが、改善が必要なため検討していきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			半年に1回、職員で意見を出し合い行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	80%	20%		ガイドラインを確認している。基本的な所を把握しながら、特色を出していくことが出来るように支援していきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			児童発達管理責任者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	80%	20%		学校との情報共有については、学校の先生の方針によって異なる。トラブルが発生した際には、1番スムーズに対応できるように施設長や施設に残っている職員と連携を取りながら対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	60%	20%	20%	該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	60%	20%	20%	今後、連携を図れるように検討する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			担当者会議を行い、共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%	20%		研修には参加している。連携はあまりできていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%	20%	60%	検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			日々の連絡帳や送迎時に様子を伝えたり聞いたりして共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	40%	60%		今後、そのような研修を行ってきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			連絡帳や電話・LINEを通して保護者と連携を取り、可能な限り助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	20%	40%	40%	昨年は夏祭りの開催のみだったので、今後保護者会も計画していきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			重要事項説明書に記載し、契約時に説明している。また、苦情があった場合には早めの対応を心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			月初めにおたよりの発行や月末にホームページの更新をしている。Instagramは毎週行っている。活動の写真はLINEを使って毎月保護者に送っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			個人情報には十分注意しており、必要に応じて同意書の記入をお願いしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			子どもたちにはできる限り個別での声かけを行い、保護者には連絡帳で1日の様子を書いている。送迎の際に子どもたちの様子を伝えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%			毎月、地域の老人の方を招き、老人サロンを開催している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	40%		保護者には契約時に説明して周知につなげている。職員全体にも周知できるように用紙を配布する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80%	20%		避難訓練を行っている。避難計画を作成し、普段から災害に対応できるよう訓練に取り組んでいきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			毎月、虐待チェックリストの記入を行っている。また、定期的に虐待防止につながる動画を視聴している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			対象となる場合には必ず説明をしてから同意書に記入をしてもらい、計画書に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			保護者と連携を取りながら対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			ヒヤリハットを作成し、職員間で共有している。他施設の職員とも共有し、同じことが起こらないように努めている。